

Q2

BCG ワクチンによる結核予防効果について教えてください。

A

BCG 接種による結核発病予防効果については、最近活発に研究が行われ、その結果は次のように要約できます。

- 1 BCG 接種は適切に行われれば結核の発病を、接種しなかった場合の1/4くらいに抑えます。
- 2 BCG 接種は、結核性髄膜炎や粟粒結核など小児の重篤な結核の発病予防に、特に効果があります。
- 3 BCG ワクチンは一度接種すれば、その効果は10～15年程度持続します。

わが国では、BCG 接種により小児の結核罹患率は極めて低くなっていますが、平成18年（2006）の人口10万対罹患率は20.6で、カナダ（4.6）の4.5倍、米国（4.7）の4.4倍、オーストラリア（5.1）の4.0倍とされ、米国の1960年代後半の水準にあります。もし仮に今、BCG 接種をやめれば、小児の結核はかなり増加するものと思われます。